新洋海運　アジア通信

202612

中国とASEANの連携強化！ACFTA 3.0で日本の製造業はどう変わる？

1，中国とASEANの経済連携がさらに強化



2026年12月1日、中国とASEANの自由貿易協定「ACFTA 3.0」が発効します。今回の改定では、従来の貿易や関税に関する取り決めに加え、デジタル経済、グリーン経済、サプライチェーンの連携など、新たな分野での協力が盛り込まれています。具体的には、電子インボイスや電子船荷証券の活用、通関手続きの効率化、物流インフラの連携などが進められる見通しです。これにより、中国とASEAN間の貿易や物流が、より円滑になることが期待されています。特に注目されるのは、中国とASEANを結ぶ生産・調達ネットワークの強化です。中国から部品や原材料を調達し、ベトナムやタイなどで製造する企業にとって、今後の取引や物流環境に影響を与える動きといえます。

2，中国企業のASEAN進出と*日本の製造業への影響*



中国企業によるベトナムやタイなどへの進出が進む中、ASEANの製造環境も変化しています。中国とASEANの経済連携が強化されれば、中国から部品や原材料を調達し、ASEANで製品を製造する企業の活動がさらに活発になる可能性があります。一方、外国企業の進出が集中することで、現地の人材獲得競争が激しくなり、人件費や工場賃料などの上昇につながることも考えられます。***これまで人件費の安さを理由にベトナムやタイへ生産拠点を設けてきた日系メーカーにとって、今後は従来のコストメリットを維持することが難しくなる可能性があります。*** 中国企業との競争だけでなく、現地の人件費や調達コストの変化も踏まえ、生産拠点のあり方を見直すことが重要になっています。

3，日本メーカーに求められる調達・物流戦略の見直し

中国とASEANの連携が強まる一方、ベトナムやタイでは企業進出や生産拡大に伴い、人件費や工場賃料などの上昇も見られます。これからは、単純に中国からASEANへ生産拠点を移せばよいというわけではありません。***重要なのは、各国の特徴やコストを見極め、自社にとって最適な調達・生産体制を考えることです。***

例えば、中国から仕入れている部品をベトナムやタイからも調達できるか、また中国で行っている製造工程の一部をASEANで担えないかなど、選択肢を広げることが考えられます。その際は、人件費や工場賃料だけでなく、品質、調達の安定性、日本までの輸送費や納期も含めて比較する必要があります。さらに、生産国や仕入先が変われば、輸送ルートや物流体制も変わります。***港湾混雑や船舶の遅延などにも備え、複数の輸送ルートを確保しておくことが重要です。***

中国・ASEANの動きを踏まえ、調達から輸送まで一体的に見直すことが、今後の競争力と安定供給体制につながります。

新洋海運の強み

コンテナの購入・レンタルをご検討のお客様へ！

海上コンテナの販売・レンタルを中心に、改造加工や修理など幅広いサービスをご案内します(弊社取引会社と連携)
新造・中古コンテナをはじめ、冷凍冷蔵コンテナ、特殊コンテナ、建築用コンテナなど、多彩な商品を取り扱っています。
10フィート・12フィート・20フィート・40フィートなど、用途や設置スペースに応じたサイズを選ぶことができ、新造コンテナは1本からの製作にも対応しています。また、新造品・中古品それぞれのニーズに合わせた提案が可能です。
シャッターやドア、窓、照明、換気設備などの取り付けといった改造加工にも対応しており、輸送用だけでなく、倉庫・資材置き場・物置・車庫など、さまざまな用途で活用できます。購入だけでなく、法人向けのレンタルにも対応しています。さらに、コンテナの引取・買取りやメンテナンスも手掛けており、導入からその後の管理まで幅広く対応しています。
「倉庫スペースを確保したい」「資材や商品の保管場所を増やしたい」「用途に合ったコンテナを探している」など、お考えのお客様はぜひご検討ください。
ご購入やレンタルをご検討の際は、お気軽にお問い合わせください。TEL072-223-1162



新洋海運株式会社　https://www.shin-yo.co.jp/index.html